

令和元年度 学力学習状況調査の結果について

令和2年2月21日
津幡町立笠野小学校
校長 中谷 昭代

1 学力状況調査の実施（後期）

	12月	2月
3年	町学力調査（国・算）	
5年	町学力実態調査Ⅰ（国・算）	町学力実態調査Ⅱ（国・算）

2 結果について

学年	国語	算数
3年 (12月)	国平均より ☆	国平均より ☆
5年 (12月)	県平均より ○	県平均より ◎

☆+11以上 ◎+6~10 ○+0~5 ●-0~5 ▲-6~10 ★-11以下

3 結果と（・）と今後の取組（○）

- ・3年生は概ね良好。2教科とも県や町よりかなり高得点であった。
- ・5年生は個人差があり、個別の対応が必要である。

国語

- 日記を毎日書く。（美しく、早く、漢字を使って、条件を付けて、会話、2段落等を意識するように）
- 平日読書（週3日）を推進する。
- 図や表を活用して、文章を読んだり書いたりする経験を重ねる。
- 漢字の読み書きの練習をする。
- キーセンテンス（間伐して木の本数を減らす）を見つけ、その後の文から答えとなる文章を選ぶ。→キーセンテンスにサイドラインを引く。「すると」などの接続詞に着目できるようにする。
- 「メモの内容」を使って、「内容」を受けて、「字数制限」を守って、などの複数の条件に合った文章を書けるようにするため、条件作文の指導に継続的に取り組んでいく。

算数

- 書く活動を数多く取り入れる。
- 授業で、理由を書く（個人思考）、ペアで話す、理由を聞き合う、語尾までしっかり話させる。
- 活用問題に継続して取り組む。
- 問題場面や問題文を意識して数の意味をとらえさせる。そうすることで、説明の際の問題文や問題場面にある言葉の重要性に気づかせる。また、問題文中の言葉を使って説明することで、より簡潔な文になるようにする。
- グラフの読み方やグラフを用いて比較する際のパターン、答え方について確認する。
- 放課後学習の時間を引き続き確保し、基礎基本の定着を図る。

☆全校での共通実践（学力向上プランⅢより）☆

- 【授業では】 ①思考ツール→視覚化して、根拠と理由を述べる（書く）
②書ききる →授業後半で、授業前半に書いた個人思考に加除修正を加える
- 【基礎基本】 ①ステップアップタイム 読解ドリル 取り組み方の共通理解
②朝学習 放課後学習
③読書タイム 家庭学習読書平均30分の推奨